



はじめに

島根県では、すべての県民が健康で明るく生きがいを持って生活できる社会の実現を目指して、平成12年度から、県及び圏域の「健康長寿しまね推進会議」を母体に、県民、関係機関・団体、行政が三位一体となった健康づくり運動を進めています。

この度、新たな島根県保健医療計画の策定に併せ、令和6年度から令和17年度を計画期間とする「健康長寿しまね推進計画（第三次）」を策定しました。

基本目標である平均寿命や健康寿命は、男女ともに着実に延伸しており、健康目標に掲げている生活習慣病との関わりの深い、がん、脳血管疾患、虚血性心疾患等の死亡率は低下がみられ、長年にわたる健康づくり活動の成果と考えております。

その一方で、平均寿命、健康寿命の男女格差、圏域格差は依然としてあり、高血圧等の基礎疾患有病者割合も悪化しています。また、生活習慣では、男女ともに運動習慣、喫煙率の改善が見られたものの、塩分摂取、野菜摂取といった食生活の項目で悪化傾向が見られ、取組の強化が課題です。

健康寿命を延ばすことは、医療や介護が必要となる時期を遅らせ、住み慣れた地域でいつまでも元気に暮らしたいという県民の願いを叶えることにつながります。さらなる健康寿命の延伸を目指し、県民一人ひとりが健康づくりに取り組めるよう、社会環境の整備を含め、関係機関・団体の皆様とともに本計画を推進してまいります。

終わりにになりましたが、この計画策定にあたり、ご協力いただきました皆様に心から感謝申し上げます。

令和6年3月

島根県健康福祉部長 安 食 治 外